

阪神高速道路(株)

ミッシングリンク解消に向けた建設事業の推進

大阪都心部、大阪・神戸間では、都心部に向かう交通と、都心部を目的地としない通過交通が混在するため、慢性的な渋滞が発生しており、物流、観光、交流など、経済活動が大きく阻害されています。また、2025年に大阪・関西万博の開催が決定し、早期の道路ネットワーク網の整備が期待されています。

2019年度には、大和川線と西船場ジャンクション信濃橋渡り線が全線開通し、阪神高速道路ネットワークはさらに充実しました。引き続き、お客さまの利便性の向上、関西経済の活性化などに寄与するミッシングリンクの解消や万博開催時のアクセスルートなどへの活用に向けて、建設事業の推進に取り組んでいきます。



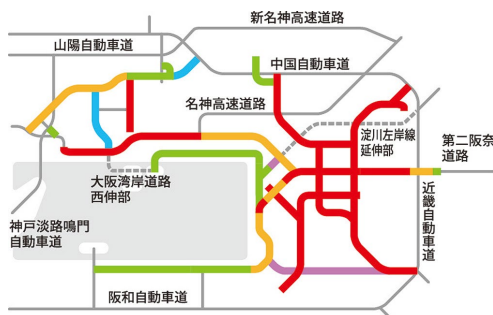
担当部署 技術部 技術企画課 担当者 増田・関川

Tel 06-6203-8888 Fax 06-6203-8324

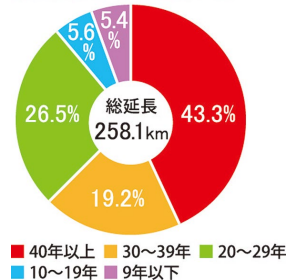
さらなる長寿命化を目指す高速道路リニューアルプロジェクト

阪神高速道路は、営業開始から半世紀あまりが経過し、総延長258.1kmのうち4割以上が開通から40年を超え、老朽化が進んでいます。

そのため、安全・安心・快適を未来につなげられるよう、構造物の長寿命化に向けた「高速道路リニューアルプロジェクト」の取組みを進めています。その一環として、2020年度から2カ年にわたる1号環状線のリニューアル工事の実施を計画しています。



路線開通からの経過年数



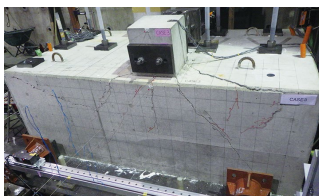
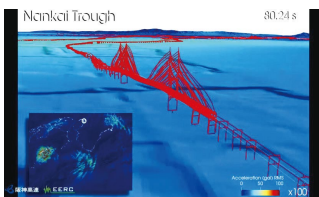
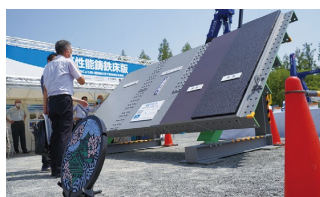
(注) 2021年3月末時点

<https://hanshin-exp.co.jp>

HT (一財) 阪神高速先進技術研究所

創造的先進技術への挑戦

都市高速道路事業へより一層の貢献を目指して先進技術の研究開発へチャレンジしていきます。



バーチャル震災資料保管庫の開設

1995年1月17日に発生した兵庫県南部地震(阪神淡路大震災)の被害を風化させることなく後世に継承し、今後の防災研究の一助となる事を願い、被災した構造物は震災資料保管庫で展示しております。今回、バーチャル震災資料保管庫を開設し、来館せずとも体感いただけるようになりました。



バーチャル震災資料保管庫

担当部署 総務企画部 企画課 担当者 尾幡・高橋

Tel 06-6244-6060 Fax 06-6244-9612

<https://www.hit.or.jp>

阪神高速技術(株)

最高水準の道路守りを目指して

関西都市圏の大動脈である阪神高速道路を、安全・安心・快適に保つため、橋梁やトンネルなどの土木構造物から、道路照明やETC設備などの電気・通信設備、トンネル防災設備等の機械設備、パーキングエリアや料金所などの建築施設、工事情報や交通情報をつかさどる情報システムまで、多種多様な道路構造物や設備に対し、24時間・365日の維持管理を実施しています。さらに、新技術の開発・活用など、維持管理のさらなる効率化、維持管理技術の向上に向けた取組を実施しています。



・トータルマネジメント

点検から診断、補修までの維持管理を一括管理体制で実施。



・土木

道路や橋梁、トンネル等の多岐に渡る構造物を維持補修します。



・技術開発

未来を見据えた技術開発で、維持管理コストの削減を目指します。



・施設

様々な施設や設備を24時間体制で監視しています。

担当部署 経営企画部 経営企画課 担当者 前田・佐々木

Tel 06-6110-7200 Fax 06-6110-7201

<https://www.hex-eng.co.jp>

阪神高速技研(株)

未来へつなぐコンサルティング技術

阪神高速技研は、道路構造物や関連施設の調査、設計、積算及び施工管理等を通して、高い専門知識と技術を培ってきました。これらの技術力は、阪神高速道路以外の道路や分野でも活用することができ、多くの発注者を支援しています。

阪神高速グループの
情報システム部門を一括管理。

システム

設計

土木：道路構造物の補修・補強設計を支援。
施設：多種多様な施設・設備の最適設計を提案。

積算

阪神高速だけでなく
公共機関の業務も受託。

総合力

膨大な交通データ・環境データを
活用する技術。

交通・環境

施工管理

培った発注者の視点で現場を管理。

担当部署 企画部 企画課 担当者 村上・中島・田中

Tel 06-6105-3333 Fax 06-6105-3344

<https://www.hanshin-tech.co.jp>